



News Release

令和6年1月10日

工学部の学生による地域の魅力向上等を通じた国際交流の実施

山崎ゼミナールでは、主として、英語の「音声」を用いる「コミュニケーション」の能力などをできる限り向上させることを目標として、さまざまな活動等に積極的に取り組んでいます。そうしたゼミ活動の一環として、このたび、当ゼミに所属する工学部1年次生13名が、将棋を通じた国際交流を実践いたしますので、ご案内します。

- 日時 令和6年1月11日（木） 13時10分～14時40分
- 場所 富山県立大学 射水キャンパス C-実習棟 2階 C-205
ワークステーション室2（住所：〒939-0398 富山県射水市黒河5180）
- 内容
開会あいさつ（工学部 生物工学科 1年次生 統括リーダー）
① プロジェクトの目的
② 将棋とチェスの歴史
③ 将棋とチェスの比較
④ 将棋の駒の動かし方
⑤ 黒部市国際交流員カーマイクル・タナカ様と将棋の対戦
⑥ プロジェクトの展望など
閉会あいさつ
※上記①～④は山崎ゼミ生がプレゼンテーションソフトウェアを用いて英語で発表します。
- プロジェクトについて
【プロジェクトチーム】
 - 山崎准教授担当の教養ゼミに所属する工学部1年次生 13名：
 - 機械システム工学科（1名） 知能ロボット工学科（2名）
 - 電気電子工学科（2名） 情報システム工学科（2名）
 - 生物工学科（2名） 医薬品工学科（4名）
【テーマ】
「地域の魅力向上等を通じた国際交流（観光の魅力発信等）： 将棋（SHOGI）を黒部市から世界へつなぐ架け橋に！」

5 協働（相手）先について
黒部市国際交流員 Lucas Jiro Carmichael-Tanaka（ルーカス ジロウ カーマイクル・タナカ）氏

6 日本将棋連盟のウェブサイトでは、将棋人口は「約1,200万人」という記載があります。将棋を通じた国際交流を実践するとともに、そこから発展させてどのように地域や観光の魅力向上や発信につなげることができるのか糸口を探るひとつの機会になることを期待しています。

※社会状況等も鑑み、やむを得ず変更や中止する場合があります。